鑛夫就業扶助規則中改正の件公布

鑛夫就業扶助規則中改正の件は、昭和十八年六月十六日付官報を以て左の如く公布せられた。

鑛夫就業扶助規則中改正ノ件

（昭和十八年六月十六日　厚生省令第二十二號）

第十二條第四號中「電動機、發電氣ノ抵抗器、變壓器又ハ「コツトレル」集塵裝置ニ屬スル整流機」ヲ「電動機又ハ變壓器」ニ改ム

第十三條第三號　削除

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

大正五年八月三日農商務省令第二十一號鑛夫就業扶助規則抄錄

第十二條　鑛業權者ハ十六歳未滿ノ者及女子ヲシテ左ニ揭クル業務ニ就カシムルコトヲ得ス

（左記略ス）

第十三條　鑛業權者ハ十六歳未滿ノ者ヲシテ左ニ揭クル業務ニ就カシムルコトヲ得ス

三　土石又ハ鑛物ノ粉塵ヲ著シク飛散スル場所ニ於ケル業務

關東州勞務調整令の公布

關東州勞務調整令は、昭和十八年六月九日付官報を以て左の如く公布せられた。

關東州勞務調整令（昭和十八年六月八日　勅令第四百八十九號）

第一條　國家ニ緊要ナル事業ニ必要ナル勞務ヲ確保スル爲ニスル關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法（以下國家總動員法ト稱ス）第六條ノ規定ニ基ク從業者ノ雇入、使用、解雇、就職及退職ノ制限ハ本令ニ又ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外勞務調整令ニ依ル但シ同令第一條、第六條、第八條、第十一條及第十八條乃至第二十條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

勞務調整令中國家總動員法トアルハ關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法、學校卒業者使用制限令トアルハ關東州學校卒業者使用制限令ニ於テ依ルコトヲ定メタル學校卒業者使用制限令、厚生大臣トアルハ滿洲國駐劄特命全權大使、地方長官トアルハ關東州廳長官、國民職業指導所長トアルハ關東職業指導所長、國民職業指導所トアルハ關東職業指導所、國及道府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノトアリ又ハ國及道府縣トアルハ國、市及會、國又ハ道府縣トアルハ國、市又ハ會、道府縣トアルハ市又ハ會、國民學校修了者トアルハ初等學校修了者、第四條、第六條又ハ第七條トアルハ第四條、第七條又ハ關東州勞務調整令第二條トス

第二條　本令施行後關東州ニ於ケル國民學校（以下國民學校ト稱ス）ノ高等科ヲ修了シ又ハ公學堂ノ初等科若ハ高等科若ハ普通學堂ヲ修了シ若ハ中途退學シタル後二年ヲ經過セザル男子ニシテ技能者タラザルモノ（以下初等學校修了者ト稱ス）ノ雇入及就職ハ關東職業指導所ノ紹介ニ依ルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ國、市及會ニ於ケル雇入及就職ノ場合竝ニ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條　勞務調整令第七條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ之ヲ適用セズ

一　勞務調整令第五條第二號ノ場合

二　國、市及會ニ於ケル一般青壯年ノ雇入及就職ノ場合

三　其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合

第四條　國民學校ノ初等科若ハ高等科、公學堂ノ初等科若ハ高等科又ハ普通學堂在學中ノ者ヲ雇入レ其ノ者ガ國民學校ノ高等科、公學堂高等科若ハ普通學堂ヲ修了シ若ハ公學堂初等科ヲ修了シ公學堂高等科ニ進學セザル場合又ハ公學堂ノ初等科若ハ高等科若ハ普通學堂ヲ中途退學シタル場合引續キ其ノ者ヲ雇傭スル場合ニ於テハ第二條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ者ガ國民學校ノ高等科、公學堂ノ高等科若ハ初等科若ハ普通學堂ヲ修了シ又ハ公學堂ノ初等科若ハ高等科若ハ普通學堂ヲ中途退學スル時ニ於テ新ニ雇入レ及就職スルモノト看做ス

年齡十四年未滿ノ者ヲ雇入レ引續キ其ノ者ヲ雇傭スル場合ニ於テハ勞務調整令第七條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ者ガ年齡十四年ニ達スル時ニ於テ新ニ雇入レ及就職スルモノト看做ス

事業主其ノ雇傭スル從業者ニ付工場、事業場其ノ他ノ使用ノ場所間ニ所屬ノ移動ヲ行フ場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ後ノ使用ノ場合ニ於テ新ニ雇入レ及就職スルモノト看做ス

第一項及第二項ノ場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ新ナル雇入ニ關シ第二條若ハ勞務調整令第七條ノ規定ニ依ル認可又ハ第二條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ依ル認可ノ申請アリタルトキハ其ノ申請ニ對スル認可又ハ不認可ノ處分アル時ニ新ニ雇入レ及就職ス